

せかいのあいさつ ジェスチャーごっこ（先生用・進行シート）

領域・形態・時間	聞くこと・文化への気づき クラス全体 10～15分
ねらい	世界のあいさつを聞いてまね、言語によってあいさつも身ぶりもちがうことに気づく。

やり方 この流れでやってみよう

- 1 Listen. (Teacher: Namaste!)
- 先生（またはALT・映像）があいさつを言う。子どもはよく聞く
- 2 Repeat and do the gesture.
- みんなでまねして言いながら、下の表のジェスチャーをする
- 3 Quiz time! Gesture only.
- 先生がジェスチャーだけを見せる→どこのあいさつか、みんなで言う
- 4 Which one do you like?
- 「どのあいさつがすき？」を聞いて、気づきを引き出す

よみあげ表 上から順に。1つにつき「先生2回→みんな2回」

あいさつ	ことば・国や地域の例	いっしょにするジェスチャー
Hello! / Hi!	英語（世界中）	片手を上げて大きくふる
ニーハオ（你好）	中国語	軽くおじぎ（両手は体の横）
アンニョンハセヨ	韓国・朝鮮語	手を前で重ねて、ていねいにおじぎ
ナマステ	ヒンディー語（インド）	むねの前で両手を合わせる
ボンジュール	フランス語	にっこりして軽く会釈
ジャンボ	スワヒリ語（ケニアなど）	大きく手をふる（元気よく!）
オラ（Hola）	スペイン語	手のひらを見せてあいさつ
こんにちは	日本語	おじぎ（いつものあいさつを英語の日にも）

言語名は「〇〇語」で伝える（国とことばは1対1ではない——英語もスペイン語も多くの国で話されている。さらっと一言そえる程度でよい）。

ルール

（子どもへ）①はつおんは「にせもの」でいい。まねしようとするのがりっぱ ②ジェスチャーはおおげさに！ ③しずかにやるあいさつ（おじぎ）は、しずかさもまねする

☆レベルアップ！ チャンピオン戦は「こたえずにジェスチャーだけかえす」ラウンド。先生がナマステ と言ったら、声を出さずに合掌できたら1ポイント。

先生へ（運用のコツ・中間指導）

- ・映像や音源（Let's Try!付属）があれば本物の音声を優先。なければカタカナ読みで堂々とやってよい（目的は正確な発音ではなく「ちがいへの気づき」）
- ・「おじぎの深さがちがう」「手を合わせるのが神社みたい」のようなつぶやきが出たら板書して拾う。ここが言語・文化への気づきの評価場面
- ・ALTが来る日なら、ALTの出身地・話せる言語のあいさつを1番に。子どもの食いつきがまるで違う